

グアテマラ経済（2012 年 10 月）

平成 25 年 1 月
在グアテマラ日本国大使館

『10 月の主な動き』

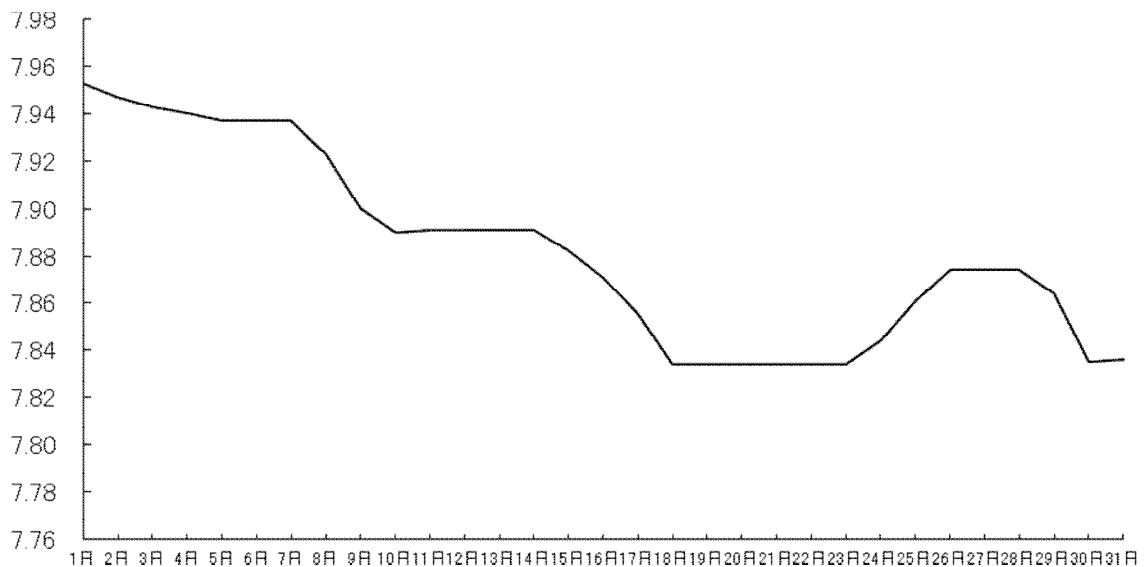
- 10 月、対米ドル・ケツアル為替は 1 ドル＝7.834～7.953 の範囲で推移した。
- 10 月、消費者物価指数は対前月比 0.03%、対前年同月比 3.35%上昇した。
- 10 月、外国からの送金額は前月に比べ上昇し、対前年同月比でも 16.44%増となった。
- 19 日、中国上海に創設されたグアテマラ中国通商協力会議所の開所式が行われた。
- 23 日、2013 年度国家予算が国会で承認された。

1. 主な経済指標

（1）為替レート（中銀）

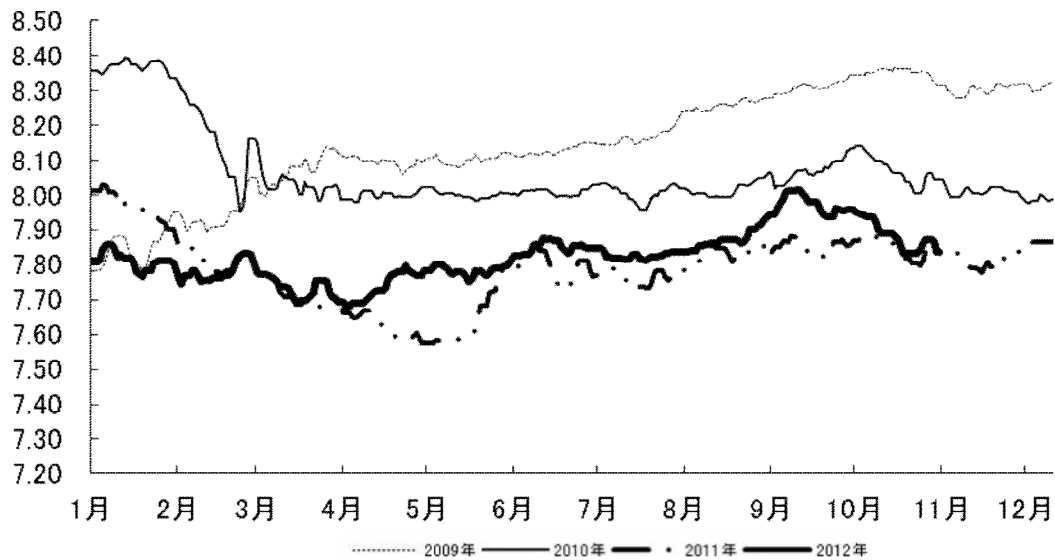
10 月、ケツアルの対米ドル為替相場は、1 ドル＝7.834～7.953 の範囲で推移した。10 月 31 日時点の為替レートは同月初頭に比べ 0.1177 ケツアル安ドル高の 1 ドル＝7.8355 ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2012 年 10 月



（出典：グアテマラ中央銀行）

ケツアル対ドル相場の推移：2009 年-2012 年

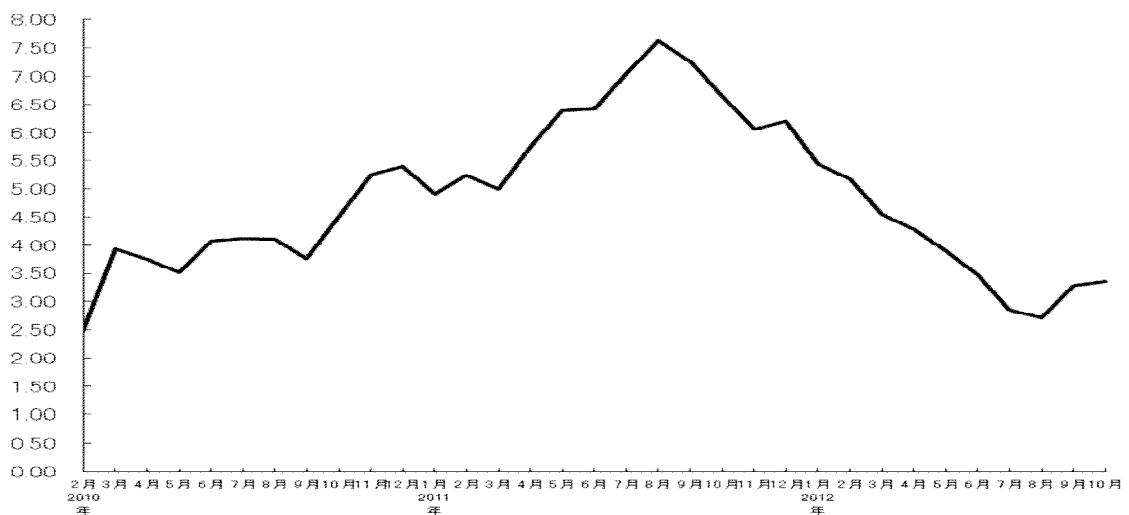


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数 (国立統計院)

10 月、消費者物価指数は前月比で 0.03%上昇し、前年同月比では 3.35%上昇した。

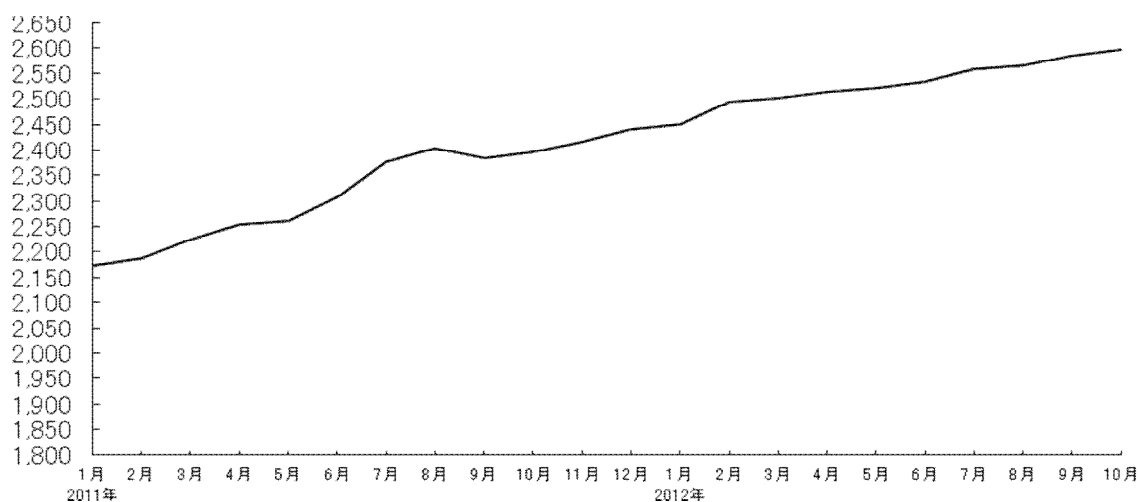
消費者物価変動率(対前年同月比:%)：2010-2012 年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1 世帯 5.38 人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料 26 品目）価格は、前月比 11.70 ケツアル増の 2,596.80 ケツアル/月となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2010-2012 年
(単位：ケツアル)



(出典：国立統計院)

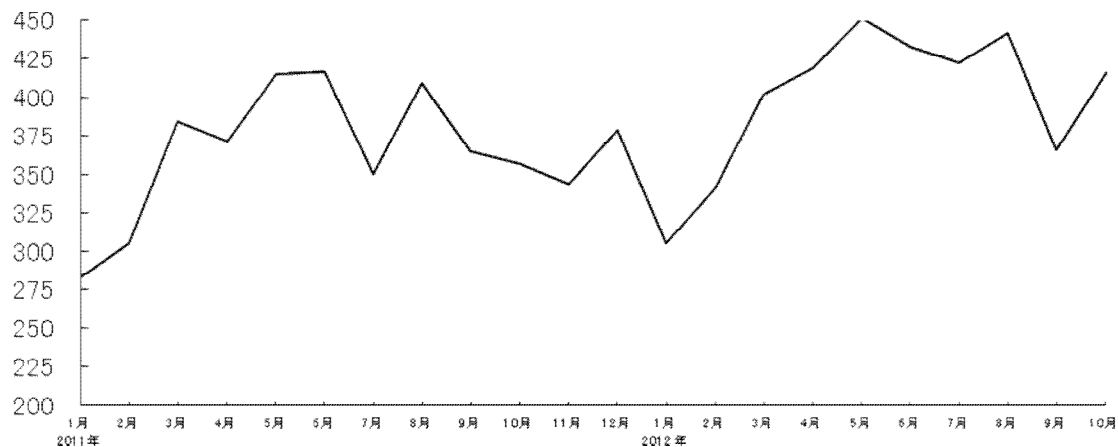
また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月 21.35 ケツアル増の 4,738.69 ケツアル/月となった。

（３）外国からの送金（中銀）

10月、外国からの送金額は前月に比べ上昇し、前年同月比でも16.44%増の4億1,544万ドルとなった。

外国からの送金額：2011-2012年

（単位：百万米ドル）



（出典：グアテマラ中央銀行）

2. 経済トピックス

（１）2013年度国家予算の成立

23日午後、2013年度国家予算が国会で承認された。同予算は今年度予算（595億4,730万ケツアル）比12.49%増となる669億8,540万ケツアルとなった。また2013年度予算においては、外務省、教育省、農牧食料省、通信インフラ住宅省、社会開発省及び文化スポーツ省等向けの各予算の増額が認められた。また、各自治体に割り当てられた公共事業関係予算に関し、これまでは各県の開発審査会を通じて、予算承認後も公共事業関係予算の増額等の変更が認められてきたが、2013年度予算の承認に先立ち地方自治法が修正され、右変更については禁止された。

（２）新規借款の国会承認

11日、当国国会は総額569.4百万ドルに上る新規借款（ブラジル国立経済社会開発銀行等による麻薬対策用のレーダー及び軍用航空機の購入、スチテペケ県－サンマルコス県間の幹線道路拡張）を承認した。

（３）汚職防止法の国会承認

30日、当国国会は愛国党（PP）他多数の政党による120票の賛成を得て、汚職防止法案を

可決した。同法案は、2001年にモンテネグロ議員（現国会第二副議長、グアテマラ集合党（EG））が国会に初めて提出してから足かけ10年に亘る国会審議を経て、今回承認されるに至った。本法の目的は公金により私腹を肥やした者の犯罪責任を追求することであり、不正蓄財及び職権乱用による罪を犯した場合、最大50万ケツアルの罰金、最大6年から10年の禁固刑が課される他、公務員職を剥奪されることが新たに刑法において定められることになった。また、本法案では国家の三権の長の地位にある者や官公庁の職員は自身の資産を申告する必要があると定めている他、非政府組織（NGO）の資金を運用する者も同法による取締の対象となっている。

（４）韓国と中米諸国との自由貿易協定交渉開始に向けた動き

16日、コスタリカにおいて Lee Seong-Ho 韓国外交通商部対外通商政策局長と中米諸国の経済関係省の実務レベルが中米諸国と韓国との自由貿易交渉開始に向けて準備会合を行った。同会合に先駆けて、12日、デ・ラ・トーレ経済大臣は、中米諸国の中には既に韓国との自由貿易協定交渉開始に関心を示している国があると明らかにした他、今次会合に当国が参加する理由は、韓国が中米諸国との貿易においてどのような期待を抱いているか確認するとともに、同交渉開始（2013年）の可能性を見極めるためであると述べた。また、ブリツ当国商業会議所会頭は、「当国の商業部門は中米諸国と韓国との自由貿易協定交渉の開始を支持する。グアテマラがブロックとして同交渉に参加したくない場合、二国間で交渉を進めることになるであろう」と述べた。

（５）グアテマラ中国通商協力会議所の開設

19日、中国上海に創設されたグアテマラ中国通商協力会議所の開所式が行われた。バルノヤ同会議所副会頭は、中国の企業家は当国のコーヒー、魚介類及びテクノロジー関連のビジネスに関心を示しているが、投資を行う前にまずはグアテマラの現状につき把握したいと考えており、同会議所が両国の企業家の通商関係促進のための架け橋となり得る旨述べた。更に、バルノヤ副会頭は、同事務所開設の前日には、中国との通商関係の促進に関心を示すラテンアメリカ諸国における15の商工会議所から成るラテンアメリカ中国企業家委員会が創設された旨発表した。

（６）ビジネス環境調査 Doing Business 2013

22日、世界銀行が発表したビジネス環境調査「Doing Business 2013」において、当国は建設許可取得の手続きを簡略したこと等が評価され、前回調査時よりも5ポイント順位を上げ、総合ランキングでは185カ国中93位となった。なお、その他中米諸国の順位は、コスタリカ110位、エルサルバドル113位、ニカラグア119位、ホンジュラス125位。当国は総合では5ポイント順位を上げるようになったとは言え、指標毎に見てみると、10項目中7項目で順位を落としており、ランクを上げることが出来たのは3項目（建設許可取得、財産登記及び契約不履行）のみという結果となり、当国のビジネス環境の向上に向けて全

てが順調であるとは言えない状況であることが明らかとなった。

（了）